

現業評議会

7・13人事課総括課長交渉
専門技能の継承体制の強化を

完全補充・賃金改善実現に向け独自要求書提出

7月13日、現業評議会(議長・山口耕司管財課分)は、独自要求書を佐藤人事課長に提出し、現業闘争をスタートさせた。

【人員要求】

- ① 正規職員での退職補充
- ② 研究機関の技能員の加配
- ③ 土木部の運転技士の適正配置(特に1人職場の解消)
- ④ 県庁管財課の運転技士の体制回復(18人体制の堅持)



▲佐藤人事課総括課長に要求書を手渡す山口議長(右)

⑤ 県庁の直営守衛の再配置を含めた協議の継続

【賃金要求】
号給増設、勤勉手当改善、非常勤職員の賃金改善

これに対し、佐藤人事課長は「各部署を通じて状況を把握し、その内容を踏まえて検討する」との姿勢を示したことから、農業大学の技能員の増員、各土木

部の運転技士の直営配置などの諸課題を訴え、検討を促した。最後に、山口議長から「秋の交渉時に誠意ある回答を」と訴えた。

同日、農林水産企画室、県土整備企画室及び管財課にも要請書を提出した。(農林水産) 山本管理課長は、「先般、種山畜産研究室の厳しい実態も確認してきた。実態を踏まえて人員要求を進め、再考を求めた。

現業評は、秋の交渉に向け非現業と連携した闘争に向けた取り組みを進める。

めるとした。(県土) 高井管理課長は、運転技士は不補充との全庁的な方針を示したことから、災害対応を踏まえた運転技士配置に向けて再検討を促した。山崎管財課長は「来年度の組織体制での検討を進め、然るべきに示したい」との姿勢にとどまったことから、運転技士1人減で業務に支障が生じていること、守衛業務も委託業者では即応した対応ができていない実態を訴え、再考を求めた。



▲管財課・山崎総括課長へ要請内容について説明する現業四役



▲農林水産企画室の山本管理課長に要請内容を説明する現業四役



▲県土整備企画室の高井管理課長に要請内容を説明する現業四役

「土木協」再建に向け始動

分会学習で課題の共有化を図る

盛岡支部土木分会では、7月23日から27日にかけて、各部門で抱える職場課題の意見交換を実施した。

本部・佐々木書記次長から、停滞していた土木協の体制確立・強化に向けた取り組みについて説明。意見交換では、「55歳の新採用職員に対する賃金改善が必

要」「今30歳代の主任が少なく、バランスのとれた採用が円滑な業務遂行につながる」など切実な思いが話された。

今後は順次、県土整備部各室課分会、各土木分会で意見交換会を開催し、課題を共有しながら、協議会体制の確立をめざしつつ、

安心して働くことのできる職場の実現に向けて独自要求行動を展開していく。

盛岡土木分会学習会(4グループ目)



▲盛岡土木分会学習会(4グループ目)

支部運動の活性化で組織強化を

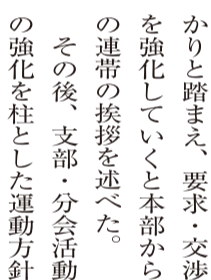
第56回北上支部定期大会

7月11日、北上支部は北上地区合同庁舎で第56回定期大会を開催した。岩崎竹史支部長(農業大学校分会)から、「昨年度実施した県南4支部独自要求交渉の実現、更には支部活動の活性化から組織を強化していきたい。各分会の課題も共有しながら、支部運動を創り

上げ、連帯していこう」とあいさつ。その後、小野中央執行委員長から、人員確保闘争や18人勧闘争の情勢とともに、現場課題をしっかりと踏まえ、要求・交渉を強化していくと本部からの連帯の挨拶を述べた。

その後、支部・分会活動の強化を柱とした運動方針が提起。全会一致で採択され、方針が確立された。

今年度の支部活動方針などを決めた北上支部定期大会



▲今年度の支部活動方針などを決めた北上支部定期大会

新組合員歓迎会&青婦部全体交流学習会

『賃金の仕組み』『評価制度』三二学習や分散会で交流

二次交流も熱く!!



▲新組合員歓迎会・青婦部全体交流会に参加の面々

青年婦人部は、7月21日、自治労県本部(盛岡市)において、新組合員、先輩組合員を対象に、加入促進の観点から新採用未加入者を対象とした学習交流会と歓迎会を開催した。

開催にあたり、小野中央執行委員長と和野青年婦人部長があいさつ。ミニ学習では、和野青婦部長から、県職員の賃金の基本的な仕組みや、人事委員会が公表した標準的な生計費などについて説明。その後、参加者を6人程度に分けて分散会を行った。参加者から「周りの人と相談しながら仕事ができる」という仲間がいる一方で「仕事のこと相談できる人が近くにいない。いつも本庁に聞いている」「一定

時に帰れない」「技術的なことより予算のことを言われ、学んできたことが生かされない」など、職場で感じている声が出された。また、「参加するか迷ったけど、同年代の仲間と交流を深めたい」という声も聞かれた。今回不参加の方も、仲間と交流を深めるため、次回学習会には是非参加してほしい。



▲小グループに分かれての交流の様子

水産研究部門の独自要求確立を

水産技術センター学習会

7月12日、水産技術センター1分会は、水産研究部門の人員・職場課題の実態討論を踏まえた要求の確立に向け、学習会を開催した。

冒頭、本部・小澤書記長から、先に水産技術センター1分会内で討論した内容をもとに作成した要求書案の概要を説明。その後、実態討論を行った。「サケやクロマグロの資源管理などの業務増で研究員2人の加配が必要」等の具体的な人員要求と特殊勤務手当の改善、研究職の賃金改善、庁舎管理費改善の課題も討論した。

今後、内水面水産技術センター1分会の課題と併せた要請書を作成し、独自要求交渉に向けた取り組みを本格化させていく。



▲小澤本部書記長を招いての水産技術センター分会学習会

久慈支部

新体制を確立

県職労久慈支部は7月23日、今年度の支部体制を確立。人勸期・確定期の取組みへスタートを切った。役職・氏名は次の通り。(敬称略)



藤本支部長

- 支部長 藤本 勝彦(水産部)
- 副支部長 小笠原和夫(経営企画部)
- 書記長 安藤 義一(普及センター)
- 書記次長 琵琶坂育雄(農村整備室)
- 執行委員 阿部 嘉智(保健福祉環境部)
- 佐藤 大(林務部)
- 安部 努(土木部)
- 井村 裕一(農政部)
- 会計監事 佐藤 善博(経営企画部)
- 佐藤 利(土木部)